






## SDGs 宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 3 月 17 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
70年に渡り地域の水産業と農業の橋渡しをしてきた経験を活かし、地域社会の課題の解決と発展に寄与する。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
昭和24年の創業以来、地域の水産加工残渣を廃棄させずに回収（購入）し、それを原料として飼料や肥料を製造しており、その飼料や肥料は静岡の高品質な農畜産物の下支えとなっている。この地域社会循環を持続可能なものとすべく、一般消費者を対象とした食品の開発・販売をおこなうとともに、PR活動も実施している。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022 年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023 年12月31日までの取組目標
	加工残渣及び水産加工物を購入する際の値引き交渉を1件も行わない。	値引き交渉は一切行わなかった。	加工残渣及び水産加工物を購入する際の値引き交渉を1件も行わない。
	当社の取り組みを対外的にPRする。PRする機会を4回実施する。	テレビ、ラジオに加え、静岡市内に来る修学旅行生にむけても当社の取り組みを説明する機会が10回あった。	当社の取り組みを対外的にPRする。PRする機会を5回以上実施する。
	プラスチックコーティング肥料の使用を一切行わない。	自社で製造する肥料に一切使わなかった。	プラスチックコーティング肥料の使用を一切行わない。
	当社で製造する配合肥料のうち、有機肥料の配合率を2ポイント増加させる。（75%→77%）	有機肥料の使用率は75%と増減なしだった。	当社で製造する配合肥料のうち、有機肥料の配合率を2ポイント増加させる。（75%→77%）
	自社以外の業者と協力して1件以上の新商品・新サービスをリリースする。	地域を拠点に活動するデザイナーと共同で肥料の新商品をリリースできた。	自社以外の業者と協力して1件以上の新商品・新サービスをリリースする。

（記載上の注意）

- 1 取組目標は**3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載**してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	伊豆川飼料株式会社	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業 種	3. 製造業	
3	従業員（構成員）数	18名	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役
		氏 名	伊豆川徹三
5	所 在 地	〒 424-0035	
		静岡県清水区横砂南町4番35号	
6	ホームページURL	<a href="http://izukawa.com/">http://izukawa.com/</a> <a href="https://www.toro-tuna.com/">https://www.toro-tuna.com/</a>	